

# 学校教育理念

すべての子どもの  
学習機会と進路の保障

# 【令和6年度 岡崎中学校学校教育目標】

「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高め,  
確かな学力・豊かな心・健やかな体を備えた生徒を育成する

- ①主体的・対話的で深い学びを重視した授業を展開し、生徒の学びの質を高める。
- ②多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく一人一人に個別最適な学びや、協働的な学びを実現する。
- ③日々の授業と家庭学習との連動を通して、生徒の自学自習の習慣化を図る。
- ④あらゆる教育活動に「生徒指導の実践上の4つの視点」を意識した取組を実践し、生徒の自己指導能力を育成する。
- ⑤互いを認め合い励まし合う集団作りに向け、生徒の主体的・自発的な活動を尊重しつつ生徒会活動活性化の指導を徹底する。
- ⑥命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など豊かな人間性を高揚させ、人権尊重の精神と態度を育成する。

# 目指す子どもづくり（生徒像）

- 自らの将来を見据え、課題を探し、他者と協働して解決しようとする子ども。
- 多様な他者と共に生き、共にまなび、人権文化の担い手となる子ども。
- 自らの考えを「ことば」「態度」で表現できる子ども。
- 自らの健康を維持管理して、たくましい体に育つ子ども。

# 目指す学校づくり（学校像）

## ● 身近で存在感のある学校づくり

⇒ 様々な教育活動の積極的な発信と地域との交流による信頼関係づくり

⇒ 「（家に帰って）明日も行きたい、（朝起きて）今日も行きたい学校」

## ● 徹底的に生徒、保護者と「向き合い」「寄り添い」「学び合う」学校づくり

⇒ 思春期の中学生とその保護者に向き合い、将来への確かな歩みを進める。

## ● 義務教育9年間の成長を温かく、時に厳しく見守れる学校づくり

⇒ 子どもの成長は「螺旋階段（失敗と成長の繰返し）」

⇒ 中学校卒業までに「社会に羽ばたける素養を培う」

# 目指す教職員（教職員像）

- 教育に携わる一人として、「志」「責任感」「謙虚さ」をもった教職員。
- 生徒と心が通じ合える教職員。「優しさ」と「厳しさ」をもった教職員。
- 一人ひとりの生徒の内面・背景の理解に努め、AIには不可能な  
「生き方に迫る指導」をする教職員。
- 「チーム（組織）」として教育課題を共有し、互いに共感・協働  
できる教職員。